

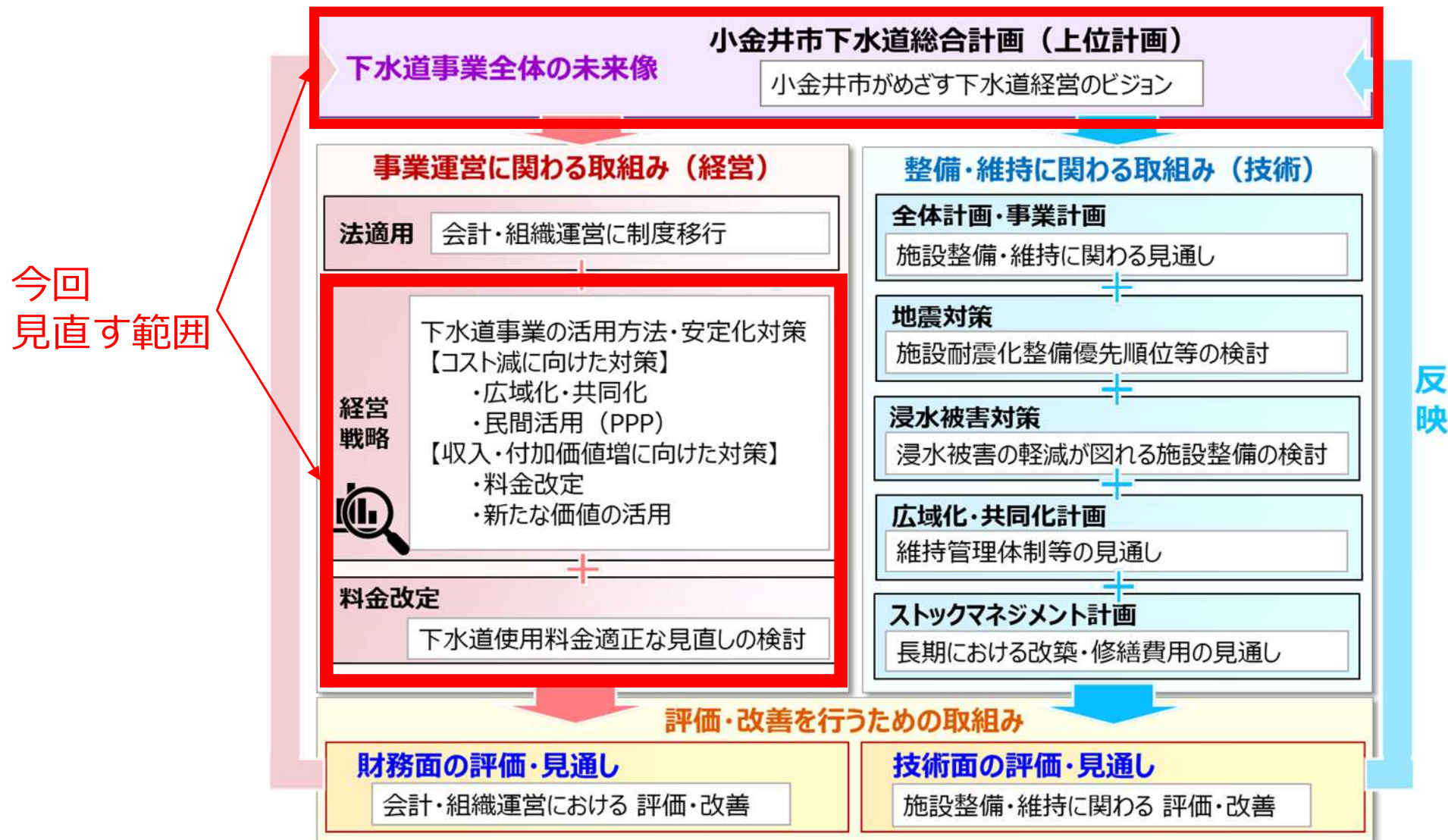
**小金井市下水道総合計画・
経営戦略の改訂及び
下水道使用料改定に関する
検討について
(令和7～8年度)**

次第

1. 現行の小金井市の計画の位置づけと見直し範囲
2. 現行小金井市下水道総合計画
3. 現行の小金井市下水道事業経営戦略
4. 下水道使用料改定について
5. 今後のスケジュール

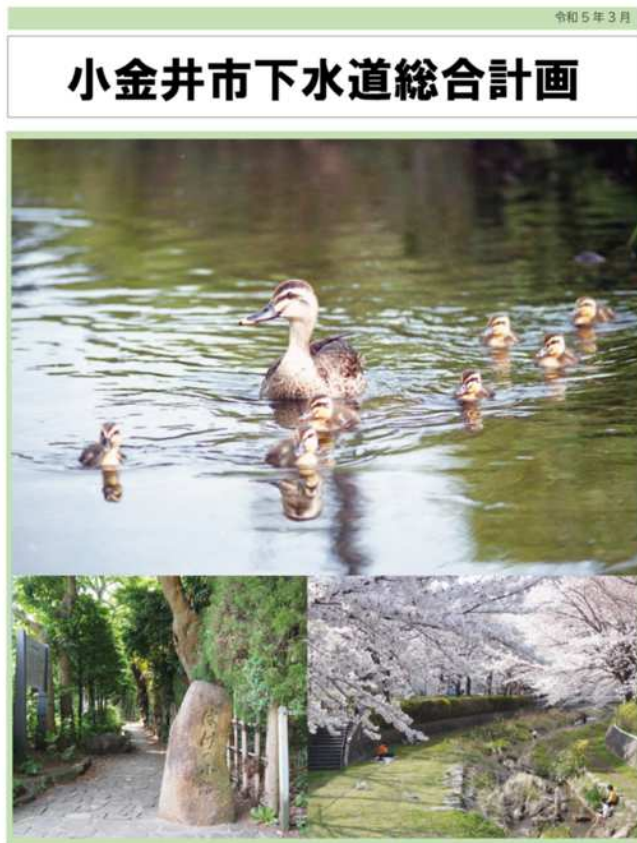
1. 現行の小金井市の計画の位置づけと見直し範囲

- ◆ 外部環境・内部環境の変化を踏まえた総合計画の時点見直しと下水道使用料改定の検討、経営戦略の見直しを行う。

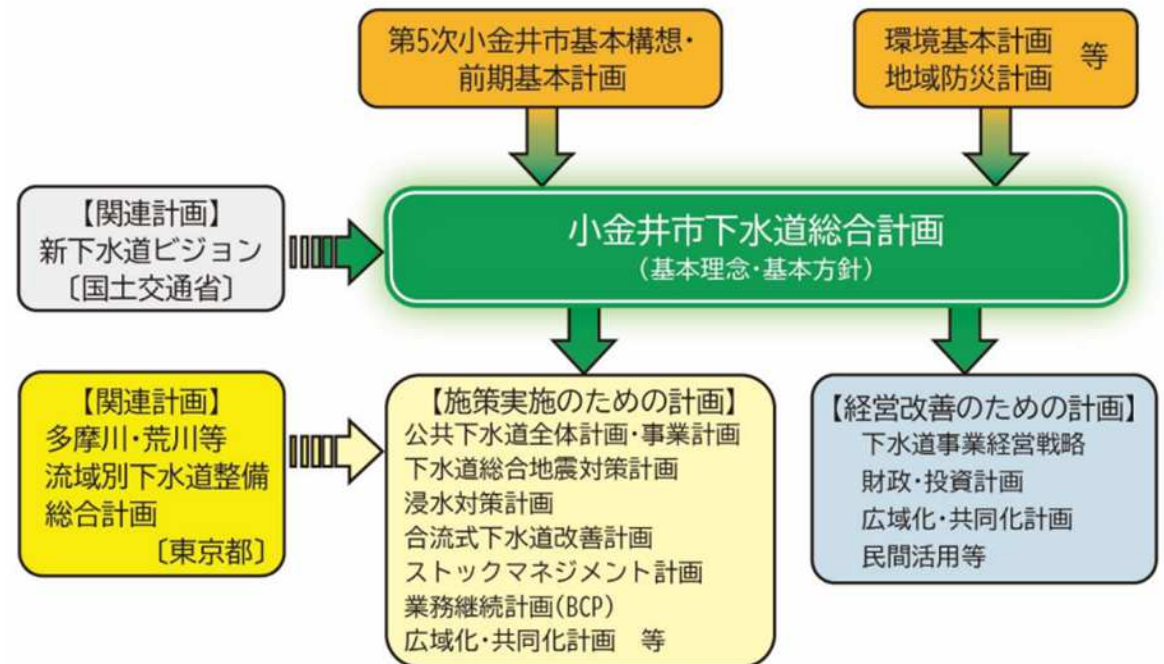


2.小金井市下水道総合計画（現行）

- ◆ R4年度に策定
- ◆ 第5次小金井市基本構想・前期基本計画等と連携。
- ◆ 今後の下水道の基本方針や施策を総合的にまとめたもの。



小金井市



小金井市下水道総合計画の位置づけ

2.小金井市下水道総合計画（現行）

- ◆ 計画期間は令和22年度まで
- ◆ 短期計画が令和8年度までで完了するため、時点修正を行う



小金井市下水道総合計画の計画期間

2.小金井市下水道総合計画（現行）

◆下水道総合計画（R5. 3）の「基本理念」

未来につなげる水のみち
（守りますみんなを守った下水道）

◆下水道総合計画（R5. 3）の「基本方針」

- ①より安全で安心なまちづくり
- ②より良好な水環境づくり
- ③持続可能な事業づくり

2.小金井市下水道総合計画（現行）

◆現在取り組んでいる施策

【基本方針】

より安全で安心な
まちづくり

より良好な
水環境づくり

持続可能な事業づくり

【主要施策】

- ① スtockマネジメント計画に基づく下水道施設の適切な維持管理
- ② 下水道施設の耐震化
- ③ 効率的・効果的な雨水対策の推進

- ① 水環境の保全
- ② SDGsの達成に向けた取組の推進

- ① 経営の健全化
- ② 執行体制の確保
- ③ 市民との情報共有・協働の推進

3. 現行の小金井市下水道事業経営戦略

◆ 経営戦略の概要

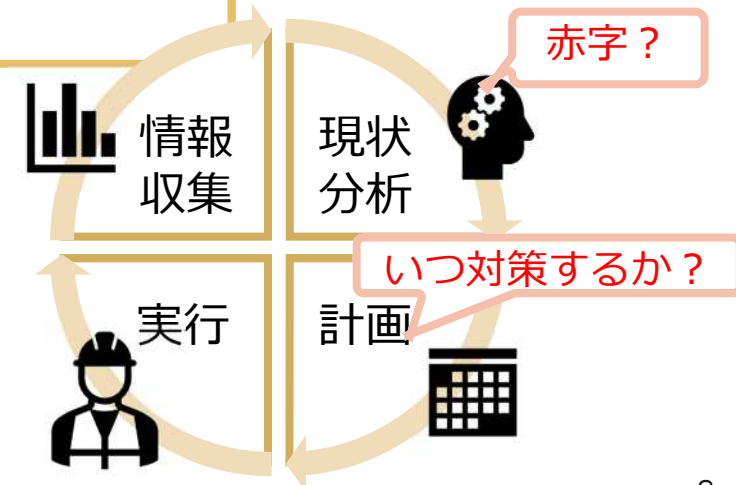
- 将来にわたって安定的に事業を継続していくため、今後10年間の収支の見通しと取り組むべき施策を示した中長期的な経営の基本計画。
- 本市では令和2年度に策定後、総合計画と合わせて令和4年度に改定を実施
- 策定時から物価高騰等の外部環境の変化が生じており、これらに応じて、下水道使用料改定等も含めた投資・財政計画の見直しが必要

課題1：人口減少や生活様式の変化に伴う水道使用量が減少による、下水道使用料収入の減少

課題2：施設の老朽化による更新投資の増大

【総務省】

「**経営戦略**」を策定し
課題を解決せよ！



3. 現行の小金井市下水道事業経営戦略

◆ 経営戦略の位置づけ

小金井市下水道総合計画

基本的な方向性・目標を示した計画



経営戦略

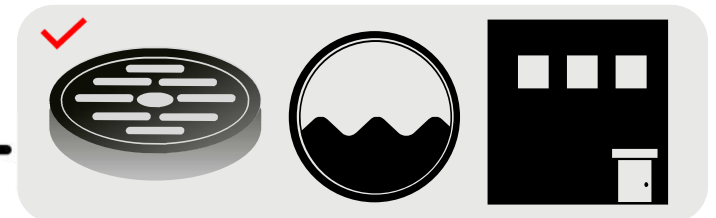
収支計画を中心とした
中長期的な経営の基本計画



計画期間：令和5年度から令和14年度までの10年間

施策実施のための取組

維持管理、改築・更新の取組等



4. 下水道使用料の改定について

◆課題①改築更新需要の増大

- 本市での管渠整備のピークは昭和52年頃（約50年が経過）
- 管渠の法定耐用年数（50年）を超過する、老朽化した施設が急増
- ストックマネジメント計画等を踏まえ、適切に改築更新を実施し、リスクを低減させる必要がある。

◆課題②人口減少と使用料収入の減少

- 本市の人口は今後5年程度は微増していくことが見込まれていますが、将来的には人口が減少していくことが予想される。

◆課題③災害対応能力の強化

- 様々な災害がある中で、さらに災害時の対応能力を強化することが求められています。

◆課題④収支ギャップ発生の見込み

- 近年の物価高騰により維持管理費が増大し、令和8年度では収支ギャップが見込まれます。よって早急な使用料の見直しが必要となりました。

4.下水道使用料の改定について



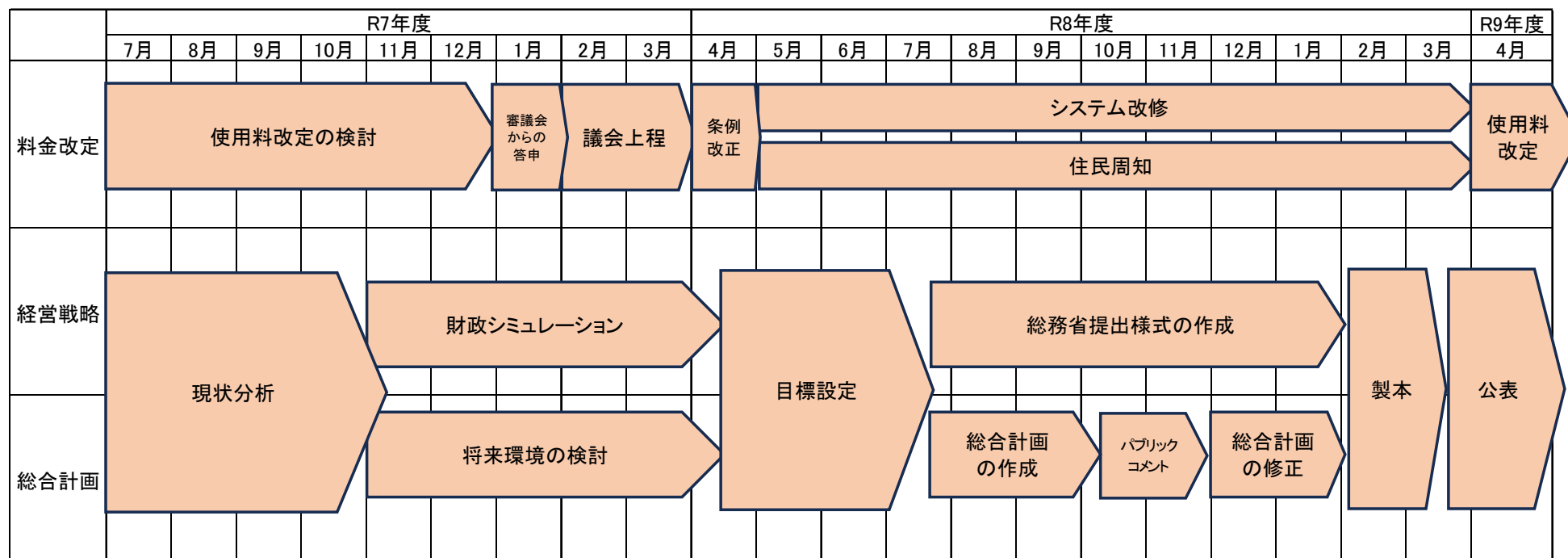
◆課題①～④を踏まえ

中長期的に人口が減少し、使用料収入が減少していく中でも、急増する老朽化施設を適切に改築更新し、災害対応能力を強化していくためには、**下水道使用料収入を現実に即したものに**見直し、事業経営を健全化し、**事業の持続可能性を確保**する必要がある。

その為、中長期的なビジョンを示す下水道総合計画の見直し、財政的視点の経営戦略の見直しと合わせて、**下水道使用料改定について検討**を行います。

5.今後のスケジュール

- ◆ 審議会からの答申を受け、下水道使用料の条例改正案をR8.3月議会に上程し、R9.4月から改定した料金体系を適用
- ◆ 総合計画の案はR8.10月頃にパブリックコメントを実施した上で、それらを反映し、R8年度末に公表予定



今後のスケジュール